

1

かんじ
漢字①

答え 別さつページ

1 次の——の漢字の読み方を書きましょう。

(5点×10)

(1) 今日は天気が悪い。

(わる)

(2) 先生のはんだんに委ねる。

(ゆだ)

(3) プールで泳ぐ。

(およ)

(4) 荷台に自てん車をつむ。

(にだい)

(5) 世界地図を買う。

(せかい)

↑もうすこし問題足り

漢字後半では問題にバリエーションをもつけてほしい。

複数の読み。
似た漢字
ない

2

(6) じゅん番を交代する。

(こうたい)

(7) 試合に決着がつく。

(けつちやく)

(8) 電柱がならぶ。

(でんちゆう)

(9) 化石について、くわしく研究する。

(かせき) (けんきゆう)

この形式(一つの問題で二問う)
を増やして問題数を増やす

／らくらくマルつけ／



3

2 次の□に漢字を書きましょう。

あん しん

(1) 親子づれも **安** **心** できるしせつ。

(5点×10)

かん

(2) あつい友じょうを **感** じた。

えき

(3) もよりの **駅** についた。

あたた

(4) スープを **温** める。

にかい

(5) わたしのへやは **二** **階** にあります。

ある

問題足す

4

しや しん

(6) 家族で **写** **真** をとる。

そう だん

(7) なやみを **相** **談** する。

ほう そう

(8) 校内 **放** **送** で音楽をかける。

は

(9) **葉** つばのしくみを **調** べる。

しら

28

送りがな おく

答え 別さつ ● ページ

は正しく書くようにしよう

1 次のうち、送りがなが正しいものには○、まちが

っているものには×をつけましょう。

(5点×5)

(1) 返す

()

(1) ア

ア 投げる イ 投る

()

(2) 回^{2年}わす

()

(2) ア

ア 細^{2年}まい イ 細^{2年}かい

()

(3) 楽^{2年}しむ

()

(3) ア

ア 明^{2年}かるい イ 明^{2年}るい

()

(4) 親^{2年}たしむ

()

(4) ア

ア 生^{1年}まれる イ 生^{1年}れる

()

(5) 整^{2年}のえる

()

(5) ア

ア 集^{2年}つまる イ 集^{2年}まる

()

2 次のうち、送りがなが正しいものをえらび、記号

で答えましょう。

(5点×5)

原則をすべて問う。①活用語尾

②「い」
③「かた」や「かた」

くらくらマルつけ／



問題数をもっと増やしてくだい

(スラスラに見えろ)

点×5)

3 次のうち、正しい送りがなをえらび、記号で答えましょう。

漢字の

(5)	(4)	(3)	(2)	(1)
短	幸	少 ^{2年}	全	仕
ア	ア	ア	ア	ア
じかい	いわい	くない	ったく	かえる
イ	イ	イ	イ	イ
かい	わい	ない	たく	える
ウ	ウ	ウ	ウ	ウ
い	い	い	く	る
ウ	ウ	イ	ウ	イ

(5)

設問に「正しい送り」を、①③の代わりに
送り仮名で読みかた異なる漢字 重なる 合う
本文の中で間違っているものを正しくする

重要

4 次の——のひらがなを、正しい送りがなをつけて漢字で書きましょう。

文の

(5)	(4)	(3)	(2)	(1)
いつもよりも早めにおきる。	正しいことをおこなうように心がける。	あのみずうみはともうつくしい。	よくかんがえることが大切だ。	音楽会がおわる。
起きる	行 ^{2年} う	美しい	考 ^{2年} える	終わる

(5点×5)

文化庁が許容しているものはでぎれはさける
表れる 行なう など

ト、

1 漢字①

(1) わる	(2) ゆだ	(3) およ	(4) にだい
(5) せかい	(6) こうたい	(7) けつちやく	(8) でんちゆう
(9) かせき、けんきゆう			
(1) 安心	(2) 感	(3) 駅	(4) 温
(6) 写真	(7) 相談	(8) 放送	(9) 葉、調
			(5) 二階

長すぎるので短く (3文字を目安)

おうちのかたへ

ふだん使っている言葉を書けるようにするのはもちろんですが、漢字の学習を通して、「委ねる」などのふだんはなかなか使わない言葉を知り、覚えていけるようにしましょう。「感」はよく書くことになる漢字ですが、「一」と「口」の位置を逆にして覚えてしまう場合がよく見られますので、今のうちに間違わずに書けるようにしておくとういでしょう。

「一」は2年
解説は基本当該学年のものを。
「感」はよく書くことになる漢字ですが、「一」と「口」の位置を逆にして覚えてしまう場合がよく見られますので、今のうちに間違わずに書けるようにしておくとういでしょう。

(1) 「悪」の「ア」の「ク」という読み方は音読みです。訓読みとまちが

えやすいので、注意がひとつです。(5) 「世」には、「セイ」という音読みもあります。訓読みは「よ」です。(6) 「交」の訓読みは「まじ(わる)」「まじ(える)」「ま(じる)」「ま(ざる)」「ま(ぜる)」です。まぎらわしいので気をつけましょう。

(2) 「感」は、「一」の下に「口」です。ぎやくに書かないように注意が必要です。(6) 「写」の部首は「冫(わかんむり)」です。「冫(うかんむり)」とまちがえないようにしましょう。

(2) いこま

「回」は回っています

28 漢字②

(1) ○	(2) ×	(3) ○	(4) ×	(5) ×
(1) ア	(2) イ	(3) イ	(4) ア	(5) イ
(1) イ	(2) ウ	(3) イ	(4) ウ	(5) ウ
(1) 終わる	(2) 考える	(3) 美しい		
(4) 行う	(5) 起きる			

基本的なルールにあるのでルールを覚えておきましょう

おうちのかたへ
送り仮名の付け方には、基本的なルールはあるものの、例外もかなり多いので、このルールを覚えておけば絶対に大丈夫ということはありません。迷った場合には辞書で確認し、個別に覚えておく習慣をつけておくとういでしょう。

ただし例外もあるのだ

(1) (2)は「回す」、(4)は「親しむ」、(5)は「整える」がそれぞれ正しい送り仮名のつけ方です。

(3) 「明るい」や(4) 「生まれる」は、とくに送り仮名をまちがいがいやすいことばなので、しっかりと覚えておきましょう。

(5) 「短い」がとくに送り仮名をまちがいがいやすいことばです。

(4) 本やインターネットなどで「行なう」と書かれていることもありますが、「行う」でおぼえておきましょう。

送り仮名の原則について触れる